

尚志16強 全国高校サッカー

第93回全国高校サッカー選手権大会は2日、各地で2回戦16試合を行った。3年ぶり6度目出場の本県代表の尚志は千葉県柏市の柏の葉公園総合競技場で宮城県代表の聖和学園と戦い、3-0でベスト16に進んだ。

序盤から試合の主導権を握った尚志は前半23分、FW小野寛之選手（2年、千葉・下貝塚中卒）のシュートで先制し、36分にMF津田亘介選手（3年、千葉・旭中卒）のパスを受けたFW渋谷和平選手（3年、神奈川・片瀬中卒）が2点目を決めた。後半5分には主将のDF山城廉選手（3年、千葉・牧野原中卒）が3点目を挙げて差を広げた。

■ 3日、立正大淞南戦（島根）

3年ぶりに選手権大会2勝を挙げた尚志は3日午後2時10分から千葉市のフクダ電子アリーナで行われる3回戦で、島根県代表の立正大淞南とベスト8を懸けて対戦する。

（2015/01/03 08:36 | カテゴリー：福島のスポート）



【尚志-聖和学園】後半5分、パスを受け、尚志・山城選手（左）が3点目のシュートを決める